

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
老人福祉論	担当教員未定	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	日本は世界の中で最も高齢化が進んだ国のひとつですが、高齢者世帯の経済面や健康面における格差はますます拡大し貧困問題は深刻な状態となっています。また、介護殺人や無理心中、孤独死など深刻な問題も起きています。今日、高齢者や家族の生活を取り巻く地域や社会の実態はどのようになっているのでしょうか。ライフコース(胎児期からの生涯)を重視し、高齢期だけにとどまらない視点から学びを深めていきます。新聞記事や映像等も用い、現代社会における高齢者の尊厳ある生活、生活保障のあり方について考えます。						
到達目標	①現代における高齢者をめぐる諸問題および社会的背景について理解できる。 ②高齢者関連の制度や政策を検討し、それに対する自らの意見を表明することができる。 ③高齢期における生活保障のあり方について、論理的に考えることができる。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション(授業内容の予定と評価の方法)						
2	高齢期の生活実態について考える(老人漂流社会)						
3	高齢期の生活実態について考える(介護殺人)						
4	高齢期における心身状況の変化(特徴的な疾患など)						
5	高齢者における心身状況の変化(認知症など)						
6	高齢者関係施策の歴史						
7	高齢者関係施策と介護保険制度						
8	虐待(高齢者分野)						
9	虐待(児童、障がい者分野との比較)						
10	権利擁護とは何か						
11	権利擁護の仕組み(成年後見制度など)						
12	「自立」とは何か						
13	高齢期における「尊厳」を考える						
14	「人生の最終段階における医療・ケア」を考える						
15	試験および試験終了後に、高齢期における生活保障とは何か						
予習内容 復習内容	予習：授業計画を参考に、新聞記事等に目を通し社会の状況に触れておく。 復習：授業を通じて生まれた自らの気づきや問いについて、文献等を用いて深めるよう努める。						
教科書							
成績評価							
実務経験							
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業は受講者と意見交換をしながら進めるため、主体的な態度での参加を求めます。 授業を妨げる言動は厳禁です。 						